

## 第3回藤沢駅前街区エリアデザイン会議 議事要旨

### 1 エリアデザインコンセプト案の検討

(素案に関する意見)

- ・駅前として機能性は大前提である。滞留する都心を深堀するほうがよい。
- ・明るい、自然、温もりはイメージが共有しやすいが、愛着、懐かしさは人によってイメージの幅が広いので、コンセプトとしては難しい。
- ・有機的なデザインとすることは実際にデザインしようとするハードルが高い。

(コンセプトに関する意見)

- ・コンセプトとは目指すべきデザインのテイストでありテーマ。
- ・藤沢駅前らしさとは文化的アイデンティティと同義。
- ・コンセプトとして何を指すのか、必要なものや大切なことを明文化してもよい。
- ・コンセプト策定の根本には地方都市の問題解決という側面がある。
- ・意匠的なデザインの前に市民や利用者が本質的に求めていることをコンセプトとしなければいけない。藤沢駅にはクリーン、安全、明るい、楽しそうなどが求められていると思う。
- ・これだけは譲れないものを一つだけ決める方法もある。
- ・ソフトは絞りにくい、ハードのルールは決めていかなくてはならない。
- ・ボトムアップの想いを後付けでも当てはめられるように余白を残した整理が必要。

(方向性の整理に関する意見)

- ・エリアデザイン＝個別整備ではなく、エリアデザイン>個別整備ではないか。
- ・デザインのためのポキャブラリーが用意されて、その組合せでデザインができていく。
- ・選択可能なデザインの要素の下に必要な最低限の基盤の機能がある。
- ・SDGsのように必要なメニューの中から選ぶ感じがよい。
- ・ポキャブラリーを羅列しても分かりづらいので、概念として整理することは必要。
- ・デザインの概念は整理されているので、それを選択するのではなく、再整理する感覚。
- ・整理したポキャブラリーをハードウェアや植栽、照明等のキーワードへ再整理できればよい。
- ・素材を組み合わせるのではなく、デザインの素材(カード)として整理して使う。

(キャッチコピー)

- ・「藤沢ニット」のような、断定しすぎず、具体的ではない、概念的なワードがよい。
- ・「Between」や「Bridge」などのつなげる役割の言葉が藤沢駅前には合っている。
- ・応用が利いて、かつ藤沢の立ち位置みたいなものを言い当てるようなキーワードで、しかもある特定のデザインのノリやテイストを決めてしまわない言葉だとよい。
- ・キャッチフレーズが実際にどのように機能しているかは実感できていないが、いいキャッチがあれば受け手もより共有しやすくなる。

- ・デザイン言語を整理していく中で、「Betweenness」のように立ち戻れる上手いきっかけになるキーワードが言い当てられたらよい。(例：NYCのセントラルパークのコンセプト「Greensward」)
- ・一歩抑えた中間領域みたいなものがキーワードとしては繋がると感じた。
- ・断定しないことは現代では魅力として感じられる。藤沢を強く断定するにしたがって、湘南という曖昧なものに内包されていくように感じる。
- ・「中間」や「間」はよいキーワードである。(例：自然と人工の間の存在「里山」)
- ・そのままデザインのノリみたいなものを代表した言葉よりも、キャッチコピーはもう少し抽象的で射程距離の長い言葉にした方がよい。

## 2 南北自由通路のデザイン案の検討

- ・検討できるデザインの幅は、床や天井、柱の色や素材、サイン関係となる。
- ・駅として持っているべき必要な空間の機能性がある。サインの場所や大きさ一つとってもそうである。床の色なども人の流動と関係がある。
- ・意匠のイメージではなく、基本的な部分はデータに基づいて理論的に決めていくべき。
- ・誘導用ブロックとの明度差などの現実的な問題を加味した方がよい。
- ・これからの情報発信はデジタルサイネージが主流になり、空間構成も変わるだろう。
- ・出店スペースの活用範囲も流動図とともに考えた方がよい。
- ・自由通路は、駅の北と南を、各鉄道事業者や商業施設等とをつなぐ中間領域である。
- ・拡幅工事のため、高さや荷重の制限や北と南の空間の違いなども考慮すべき。
- ・運用上の課題（オペレーション）に配慮し、人の流れ、滞留する場所、色や光、素材などを検討する必要がある。具体的な課題を解決できるプランを考える必要がある。
- ・デザインを考える上でコンセプトは大事。コンセプトと紐づいていないとデザインが決まらない。例えばミックスであれば、床のタイルが格子状になっているとか。
- ・機能性は一番重要視しなければいけない。
- ・まちと鉄道が一体となった流動としていきたい。
- ・自由通路は耐震補強しながらリニューアルし拡幅する工事のため、細かな条件も多い。
- ・あまり先回りして考え始めると意見が言えなくなる。例えば、明るい場所がいいとか、待ち合わせする場所、座る場所、そこには緑が欲しいなどの意見が出るとよい。
- ・鉄道事業者からも自由通路の中に入れてたい大事な要素があれば提示してもらいたい。

以上